

化学応用・バイオ 教授・准教授・講師ユニット

【部局名:工学研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
化学応用・バイオ 教授・准教授・講師	教 育	授業科目の担当状況【学部】(全学教育科目含む)	0.3	【5:特に優れている】 講義4単位相当分を超える担当をしており、授業科目に傑出した貢献を行っている。
				【4:水準を上回っている】 講義4単位相当分を超える担当をしている。(例:水準+2科目分程度)
				【3:水準に達している】 講義4単位相当分を担当している。(例:講義2科目(32週)程度+学生実験1科目+演習1科目)
				【2:改善の余地がある】 講義4単位相当分未満を担当している(例:水準-2科目分程度)
				【1:問題があり改善を要する】 授業を担当していない。
				【5:特に優れている】 講義2単位相当分を超える担当をしており、授業科目に傑出した貢献を行っている。
		授業科目の担当状況【大学院】	0.3	【4:水準を上回っている】 講義2単位相当分を超える担当をしている。(例:水準+2科目)
				【3:水準に達している】 講義2単位相当分を担当している。(例:講義1科目(16週)程度+演習科目2科目+スタジオ科目2科目)
				【2:改善の余地がある】 講義2単位相当分未満を担当している。(例:水準-2科目)
				【1:問題があり改善を要する】 授業を担当していない。
				【5:特に優れている】 2名を超える学生を指導し、熱心な取り組みを見せている。
				【4:水準を上回っている】 3名を超える学生を指導している。(例:水準+1~2名)
		卒業研究指導状況	0.2	【3:水準に達している】 2~3名の学生を指導している。
				【2:改善の余地がある】 2名未満の学生を指導している。
				【1:問題があり改善を要する】 卒業研究の学生の指導をしていない。
				【5:特に優れている】 3名を超える学生を指導(主査)し、顕著な業績をあげている。
				【4:水準を上回っている】 3名を超える学生を指導(主査)している。(例:各学年とも水準+1~2名)
				【3:水準に達している】 各学年3名程度の学生の指導(主査)をしている。
		博士課程前期研究指導状況	0.4	【2:改善の余地がある】 3名未満の学生の指導(主査)をしている。(例:各学年とも水準+1~2名)
				【1:問題があり改善を要する】 博士課程前期の学生の指導(主査)をしていない。
【5:特に優れている】 4名以上の学生の指導(主査)をしている。				
【4:水準を上回っている】 1~3名の学生の指導(主査)をしている。				
【3:水準に達している】 過去5年以内に学生の指導(主査)をしている。				
【2:改善の余地がある】 過去10年以内に学生を指導(主査)した。				
博士課程後期研究指導状況	0.6	【1:問題があり改善を要する】 過去10年間に学生の指導(主査)実績がない。		
		【5:特に優れている】 現在2名を超える学生を指導している。		
		【4:水準を上回っている】 現在1名を超える学生を指導している。		
		【3:水準に達している】 現在学生を指導している。		
		【2:改善の余地がある】 過去10年間に学生を指導しており、継続的に留学生の受入れに対して努力を行っている。		
		【1:問題があり改善を要する】 過去10年間学生の指導をしていない。		
留学生の受入状況	0.1	【5:特に優れている】 現在2名を超える学生を指導している。		
		【4:水準を上回っている】 現在1名を超える学生を指導している。		
		【3:水準に達している】 現在学生を指導している。		
		【2:改善の余地がある】 過去10年間に学生を指導しており、継続的に留学生の受入れに対して努力を行っている。		
		【1:問題があり改善を要する】 過去10年間学生の指導をしていない。		
		過去10年間に学生を指導しており、継続的に留学生の受入れに対して努力を行っている。		

化学応用・バイオ 教授・准教授・講師ユニット

【部局名:工学研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
化学応用・バイオ 教授・准教授・講師	教 育	教育方法の改善に関する取組状況	0.2	【5:特に優れている】
				傑出した取組みを行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)
				【4:水準を上回っている】
				顕著な取組みを行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)
				【3:水準に達している】
				標準的な取組みを行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項に記載なし)
				【2:改善の余地がある】
		標準以下の取組みを行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)		
		【1:問題があり改善を要する】		
		改善に関する取組みを行っていない。		
		その他の教育活動	0.4	【5:特に優れている】
				傑出した取組みを行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく(教育方法の改善の取組みを除く))
				【4:水準を上回っている】
				顕著な取組みを行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく(教育方法の改善の取組みを除く))
【3:水準に達している】				
標準的な取組みを行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項に記載なし)				
【2:改善の余地がある】				
標準以下の取組みを行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく(教育方法の改善の取組みを除く))				
【1:問題があり改善を要する】				
取組みを行っていない。				

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準		
化学応用・バイオ 教授・准教授・講師	研 究	学術雑誌等の論文公表の状況	0.8	【5:特に優れている】 当該年度の査読付き論文公表4報以上(実質的に同一内容のものを複数にカウントしない)		
				【4:水準を上回っている】 当該年度の査読付論文公表3報以上(実質的に同一内容のものを複数にカウントしない)		
				【3:水準に達している】 当該年度の査読付き論文公表2報以上(実質的に同一内容のものを複数にカウントしない)		
				【2:改善の余地がある】 過去5年間の査読付論文公表5報以上(実質的に同一内容のものを複数にカウントしない)		
				【1:問題があり改善を要する】 過去5年間の査読付論文公表5報未満(実質的に同一内容のものを複数にカウントしない)		
				学術専門書等の執筆、編集の状況	0.3	【5:特に優れている】 学術書1冊以上の単著または1冊以上の主編集
						【4:水準を上回っている】 学術書1冊以上の共著または1冊以上の編集
		【3:水準に達している】 過去5年に学術書1冊以上の共著または1冊以上の編集				
		【2:改善の余地がある】 過去10年間に学術書の著作または学術書の編集				
		【1:問題があり改善を要する】 過去10年間執筆や編集なし				
		解説、総説等の公表状況	0.3			【5:特に優れている】 3に加えて、英文で高IFの媒体への解説、総説等の公表あり
						【4:水準を上回っている】 3に加えて、英文での解説、総説等の公表あり
				【3:水準に達している】 過去5年間に解説、総説等の公表が複数		
				【2:改善の余地がある】 過去10年間に解説、総説等の公表あり		
				【1:問題があり改善を要する】 過去10年間に解説、総説等の公表なし		
				建築、芸術、演奏、体育系分野等の活動状況	0	【5:特に優れている】
						【4:水準を上回っている】
		【3:水準に達している】				
		【2:改善の余地がある】				
		【1:問題があり改善を要する】				
		特許出願状況	0.2			【5:特に優れている】 当該年度に1件以上の国際出願があるいは複数の国内出願
【4:水準を上回っている】 当該年度に1件以上の国内出願						
【3:水準に達している】 過去10年間に複数の特許の出願あり						
【2:改善の余地がある】 過去10年間に特許の出願あり						
【1:問題があり改善を要する】 過去10年間に特許の出願なし						
学術賞等の受賞の状況	0.2			【5:特に優れている】 当該年度において国際的に権威ある学会・公的機関の学術賞等の受賞あり		
				【4:水準を上回っている】 当該年度において学会・公的機関が定期的に授与する個人、団体への賞の受賞あり		
		【3:水準に達している】 過去5年間に学会・公的機関が定期的に授与する個人、団体への賞の受賞あり				
		【2:改善の余地がある】 過去に受賞あり				
		【1:問題があり改善を要する】 過去に受賞なし				

化学応用・バイオ 教授・准教授・講師ユニット

【部局名:工学研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準		
化学応用・バイオ 教授・准教授・講師	研 究	学会発表、講演等の状況	0.3	【5:特に優れている】 基調講演や全体講演、3件以上の依頼講演または学会発表件数30件以上		
				【4:水準を上回っている】 国際学会での依頼講演があるか、もしくは学会発表件数10件以上あり		
				【3:水準に達している】 定期的に学会発表を行っている		
				【2:改善の余地がある】 過去5年の間に学会発表を行った		
				【1:問題があり改善を要する】 過去5年間学会発表を行っていない		
				学術調査、研究報告等の活動状況	0	【5:特に優れている】
						【4:水準を上回っている】
		【3:水準に達している】				
		【2:改善の余地がある】				
		【1:問題があり改善を要する】				
		科学研究費の申請、獲得状況	0.4			【5:特に優れている】 過去5年間に連続して基盤B相当以上の科学研究費を代表者として獲得している または過去5年間に基盤A以上の科学研究費を代表者として獲得している
				【4:水準を上回っている】 過去5年間連続して科学研究費を獲得している。または当該年度に複数の研究費を代表者として獲得している。		
				【3:水準に達している】 過去5年間に科学研究費を得て、研究を遂行した。		
				【2:改善の余地がある】 過去5年間科学研究費の採択なし。		
				【1:問題があり改善を要する】 過去10年間科学研究費の採択なし。		
				共同研究、受託研究、その他外部資金の獲得状況	0.4	【5:特に優れている】 過去5年間で総額3000万円以上の学部資金を獲得、または遂行。
						【4:水準を上回っている】 過去5年間に総額1000万円以上の外部資金を獲得、または遂行。
		【3:水準に達している】 過去5年間に共同研究、受託研究、その他の外部資金を獲得、または遂行。				
		【2:改善の余地がある】 過去10年間に共同研究、受託研究、その他の外部資金の立案、応募を行った。				
		【1:問題があり改善を要する】 過去10年間、共同研究、受託研究、その他の外部資金の獲得、遂行、立案、応募なし。				
その他の研究活動	0.5	【5:特に優れている】 評価分野「研究」の他項目の5に匹敵する活動を行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)				
		【4:水準を上回っている】 評価分野「研究」の他項目の4に匹敵する活動を行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)				
		【3:水準に達している】 評価分野「研究」の他項目の3に匹敵する活動を行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)				
		【2:改善の余地がある】 評価分野「研究」の他項目の2に匹敵する活動を行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)				
		【1:問題があり改善を要する】 過去10年間、その他の研究活動なし。				

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準	
化学応用・バイオ 教授・准教授・講師		国、地方公共団体での活動状況	0.3	【5:特に優れている】 4に加え、過去5年間に地方公共団体において専門分野の知識を必要とする委員会等の委員長、議長等を務めている。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)	
				【4:水準を上回っている】 過去5年間、国、地方公共団体において専門分野の知識を必要活動を継続して行っている。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)	
				【3:水準に達している】 過去10年間に国、地方公共団体において専門分野の知識を必要とする活動あり。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)	
				【2:改善の余地がある】 過去10年間に国、地方公共団体での活動あり。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)	
					【1:問題があり改善を要する】 過去10年間に国、地方公共団体での活動なし。
		学会等の学術団体での活動状況	0.3	【5:特に優れている】 当該年度に法人学術団体の会長、副会長、理事(またはこれらと同等の役職)を任じている。または2つ以上の学術団体で委員を務めている。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)	
				【4:水準を上回っている】 当該年度に学会等の学術団体の委員あるいは国際学術会議の組織委員などを任じている。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)	
				【3:水準に達している】 過去5年間に学会等の学術団体あるいは、一般に参加者を募る国際学術会議の委員として活動している。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)	
				【2:改善の余地がある】 過去10年間に学会等の学術団体での活動あり。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)	
				【1:問題があり改善を要する】 過去10年間に学会等の学術団体での活動なし。	
	社会貢献	公開講座、生涯学習教育に関する活動状況	0.2	【5:特に優れている】 当該年度に複数の公開講座、生涯学習教育の行事、プログラムの代表者を勤めている。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)	
				【4:水準を上回っている】 当該年度に公開講座、生涯学習教育の行事、プログラムの代表者を勤めている。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)	
【3:水準に達している】 過去5年間に公開講座、生涯学習教育の行事、プログラムの組織者を勤めている。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)					
【2:改善の余地がある】 過去10年間、公開講座、生涯学習教育に関する活動あり。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)					
			【1:問題があり改善を要する】 過去10年間、公開講座、生涯学習教育に関する活動なし。		
	産学連携活動(技術移転、技術相談等)の状況	0.2	【5:特に優れている】 当該年度に産学連携活動(技術移転、技術相談等)の枠組みを創始している。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)		
			【4:水準を上回っている】 当該年度に共同研究や受託研究に発展する産学連携活動(技術移転、技術相談等)を行っている。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)		
			【3:水準に達している】 過去5年間に複数あるいは継続的な産学連携活動(技術移転、技術相談等)を行っている。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)		
			【2:改善の余地がある】 過去5年間に産学連携活動(技術移転、技術相談等)を行っている。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)		
			【1:問題があり改善を要する】 過去5年間、産学連携活動(技術移転、技術相談等)なし。		

化学応用・バイオ 教授・准教授・講師ユニット

【部局名:工学研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
		国際共同研究に関する活動状況	0.2	<p>【5:特に優れている】 当該年度に国際共同研究により受賞があったあるいは成果を国際論文誌に査読付き論文を公表している。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)</p> <p>【4:水準を上回っている】 当該年度に国際共同研究により若手人材の育成を行ったあるいは成果を論文として公表している。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)</p> <p>【3:水準に達している】 過去5年間に国際共同研究を実施している。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)</p> <p>【2:改善の余地がある】 過去5年間に新たな国際共同研究の企画を行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 過去5年間、国際共同研究の企画、実施なし。</p>
化学応用・バイオ 教授・准教授・講師	社会貢献	海外活動支援の状況	0	<p>【5:特に優れている】</p> <p>【4:水準を上回っている】</p> <p>【3:水準に達している】</p> <p>【2:改善の余地がある】</p> <p>【1:問題があり改善を要する】</p>
地域連携活動の状況		0.1	<p>【5:特に優れている】 過去5年間、組織の長として地域連携活動を継続している。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)</p> <p>【4:水準を上回っている】 過去10年間に組織の長として地域連携活動を行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)</p> <p>【3:水準に達している】 過去10年間に地域連携活動を実施している。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)</p> <p>【2:改善の余地がある】 過去10年間に新たな地域連携活動の企画、調査を行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 過去10年間、地域連携活動なし。</p>	
その他の社会貢献活動		0.5	<p>【5:特に優れている】 評価分野「社会貢献活動」の他項目の5に匹敵する活動を行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)</p> <p>【4:水準を上回っている】 評価分野「社会貢献活動」の他項目の4に匹敵する活動を行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)</p> <p>【3:水準に達している】 評価分野「社会貢献活動」の他項目の3に匹敵する活動を行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)</p> <p>【2:改善の余地がある】 評価分野「社会貢献活動」の他項目の2に匹敵する活動を行っている。(教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく)</p> <p>【1:問題があり改善を要する】 過去10年間、その他の社会貢献活動なし。</p>	

化学応用・バイオ 教授・准教授・講師ユニット

【部局名:工学研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
化学応用・バイオ 教授・准教授・講師	管理運営	学内の管理運営組織での活動状況	0.5	【5:特に優れている】 【学部】EP代表、入試・広報委員、教務・厚生委員、または【大学院】部門長、ユニット代表、入試・留学生委員、教務・図書委員等各種委員(委員長含む)の職責を超えた貢献をしている。
				【4:水準を上回っている】 【学部】EP代表、入試・広報委員、教務・厚生委員、または【大学院】部門長、ユニット代表、入試・留学生委員、教務・図書委員(委員長含む)の職責を果たしている。
				【3:水準に達している】 上記以外の学内委員の職責を果たしている。
				【2:改善の余地がある】 学内の管理運営業務を担当していない。
				【1:問題があり改善を要する】 5年以上、学内の管理運営業務を担当していない。
		入試業務に係わる活動状況	0.5	【5:特に優れている】 学部および大学院の入試において出題責任者レベルの職責を果たしている。
				【4:水準を上回っている】 学部および大学院の入試において出題者レベルの職責を果たしている。
				【3:水準に達している】 入試における試験監督等の職務を果たしている。
				【2:改善の余地がある】 入試業務を担当していない。
				【1:問題があり改善を要する】 入試業務において過失を犯す。入試業務を正当な理由なく拒否する。
		入学・進学志願者増加に係わる活動状況	0	【5:特に優れている】
				【4:水準を上回っている】
				【3:水準に達している】
				【2:改善の余地がある】
				【1:問題があり改善を要する】
		就職支援、課外活動支援に係わる活動状況	0.5	【5:特に優れている】 傑出した支援を行っている。(例:専攻や学科の就職支援システム充実化への貢献)
				【4:水準を上回っている】 顕著な支援を行っている。(例:ユニットやEPの就職担当)
				【3:水準に達している】 問題なく職務を遂行している。(例:研究指導学生の就職支援)
				【2:改善の余地がある】 標準を下回る支援を行っている。
				【1:問題があり改善を要する】 就職支援、課外活動支援を行っていない。
その他の管理運営業務	0.5	【5:特に優れている】 ユニット、EP、研究室などの管理運営業務に傑出した活動を行っている。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく(学内管理運営組織や入試業務の活動を除く))		
		【4:水準を上回っている】 ユニット、EP、研究室などの管理運営業務に顕著な活動をおこなっている。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく(学内管理運営組織や入試業務の活動を除く))		
		【3:水準に達している】 ユニット、EP、研究室などの管理運営業務の職責を果たしている。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく(学内管理運営組織や入試業務の活動を除く))		
		【2:改善の余地がある】 ユニット、EP、研究室などの管理運営業務の職責を十分に果たしているとは言えない。 (教員業績書(様式2)の特記事項の記載に基づく(学内管理運営組織や入試業務の活動を除く))		
		【1:問題があり改善を要する】 ユニット、EP、研究室などの管理運営業務の職責を果たしていない。		

※評価項目は全学業績評価委員会の承認を得れば追加できます。追加を希望する場合は朱書きで評価項目を記載し、全学業績評価委員会に提出ください。